



平成五年七月二一日
平成六年三月一八日

平成五年（一九九三）

- 7・21 第15回編さん委員会
- 7・28 自然環境編の編集（宮岡委員）
- 8・3～5 現代資料調査（田中調査員）
- 8・16 執筆打合せ（柚木・橋本調査員）
- 8・18～20 現代資料調査（田中調査員）
- 9・5 臨時専門委員会
- 9・7～10 現代資料調査（田中調査員）
- 9・10 原稿整理（橋本・柚木調査員）
- 9・17 第16回編さん委員会（上巻記述の検討）
- 9・22 議会総務委員会
- 9・28 議会全員協議会
- 10・12 現代編行政関係の原稿提出
- 10・20 教育委員選出の大野達夫委員が任期満了
- 10・21 教育委員選出の新編さん委員が上沼舜二氏に決まる
- 11・9 近代編の写真の選択（小作調査員）
- 11・15 現代編原稿打合せ（川鍋委員）自

平成六年（一九九四）

- 11・16 自然環境編図版打合せ（栗原調査員）
- 11・22 近代編製糸写真選択（小作調査員）
- 11・25 近代編の写真撮影（もじ、他）
- 12・2 市内小中学校撮影
- 12・6 近代編写真借用（羽村市、高山常子氏）
- 12・17 福祉会館利用調整会議（刊行物の保存場所を求め）
- 12・21 『みずくらいど』16号編集（和田委員）
- 12・27 事務打合せ（北原委員、事務局）
- 平成六年（一九九四）
- 1・13 第74回専門委員会
- 1・17 自然環境編入稿する
- 2・2 第17回編さん委員会
- 2・7 教育・文化編入稿する
- 2・10 『みずくらいど』17号編集（久保田委員）
- 2・14 自然環境編校正始まる
- 2・28 教育・文化編校正始まる
- 3・15 現代編一部入稿する
- 3・18 第75回編集専門委員会

編集後記



◇すぐに廃刊と冷かされながら一七号まできた。通史で取上げない内容もあり、編集と執筆者の大きな成果。馴れない事務局を支えてくれた方々と印刷会社へ感謝。坂本◇異動から一年、毎日が戸惑いであった。主に一般事務を担当してきたが「みずくらいど」の刊行と終局を迎えた作業の中で、何か貢献できたか反省の日々である。山本◇昭和五七年に事務を拝命し、組織づくりの時から多くの方々に協力援助をいただきました。苦労もありましたが、感謝と喜びで、市史の完結を待っています。板垣◇「みずくらいど」も一七号です。総目録をみると内容の豊かさがわかります。今後一八号、もしくは新一号以降が刊行されていくことをねがっております。久保田◇一七号で一応の節目を迎えた。資料編と共に本誌は通史執筆に役立てられただけでなく、東京地方史誌としても注目されてきたと自負している。節目は次の幹や枝を伸ばすため、それを信じ機会を待とう。北原◇編集担当は、北原進・久保田昌希

みずくらいど 17号 (福生市史研究)

平成6年(1994)3月31日 発行

編 集 福生市史編さん委員会

発 行 福 生 市
〒197 東京都福生市本町5番地
電 話 0425(51)1511

印 刷 株式会社 精 興 社
〒198 東京都青梅市根ヶ布1-385番地
